

# 本山町地域公共交通利便増進実施計画

■ 本山町では以前から交通空白地の解消や地域のニーズにあった交通網の見直しを行ってきた。しかし、高低差があり停留所までの移動が高齢者には負担となっている集落が存在しているほか、路線バスとコミュニティバスの乗り継ぎの円滑化、接続強化を行う必要があることから、地域公共交通利便増進実施計画を策定し、地域公共交通ネットワークの再編成やダイヤの改善、わかりやすい情報発信を行うことで、利便性の高い地域旅客運送サービスの提供を図る。

## 計画の概要

**【策定自治体】**高知県本山町  
**【計画区域】**本山町全域  
**【計画期間】**令和7年10月から令和10年度末までの4年間

## 主な事業内容・効果

- ①コミュニティバスのまちなかルートの延伸**  
 上町公園付近は、地形に高低差があり、高齢者の徒歩移動が難しいため、一部区間を延伸して上町公園に乗り入れることで、まちなかルートの利便性向上につなげる。
- ②コミュニティバスの集落地区への延伸**  
 既存の運行経路から離れた集落の住民が利用しやすくなることで、利用喚起につなげる。

## 主な事業にあわせて行う事業

- ③路線バスとコミュニティバスの接続強化**  
 中央病院前における接続を常に維持するよう、さくらバスの運行ダイヤを路線バスに合わせる形で見直しを行う。
- ④停留所の高度化**  
 中央病院前にて、待合環境が悪い西行きの停留所を使用せず、乗り継ぎやバスの待ち時間における快適性、安全性、そして利便性が確保されるように東行きの停留所を活用する。
- ⑤乗り継ぎの円滑化につなげるわかりやすい情報発信**  
 路線バス及びコミュニティバスの路線再編やダイヤ改正の実施に合わせて分かりやすい情報発信を行い利便性向上に努める。

## 今後、実施を予定している事業

( R7.10～実証運行  
 R8.10～本格運行予定 )

- ①汗見川方面のバス路線網再構築**  
 汗見川方面を運行する嶺北観光自動車の冬ノ瀬線について、運行経路を沢ヶ内から屋所方面(西側)に延伸するとともに、沢ヶ内から冬ノ瀬方面(北側)については公共ライドシェアに転換する。

田井-大杉駅・医大病院	土佐町の田井と大杉駅・医大病院方面をつなぐ幹線系統。
冬の瀬線	冬の瀬方面と本山町中心部を經由して田井中心部をつなぐ幹線系統。
本山町コミュニティバス さくらバス	本山町内各地区と本山町中心部を曜日運行にてつなぐフィーダー系統。
汗見川たすけあい交通	冬の瀬沿線の各集落と沢ヶ内を予約運行にてつなぐフィーダー系統。沢ヶ内にて冬の瀬線と接続する。

